



あの虫にも、この虫にも。 頼れるのはやっぱりこれ!

- 卵から成虫まで
- 目に見える速効性
- 30以上の適用作物



野菜・畑作用殺虫剤

ランネット® 45DF

適用害虫と使用方法 (が変更部分)

2017年5月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メソミルを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	ワタアブラムシ	1000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
いちご	イチゴメセンチュウ イチゴセンチュウ			1~2 ℓ / m ² 2~3 ℓ / m ²			
	イチゴネグサレセンチュウ コガネシメシ幼虫	移植活着後 (育苗期)	4回以内		灌注	4回以内	
ピーマン (露地栽培)	タバコガ ハスモンヨトウ	1000~2000倍		100~300 ℓ / 10a			収穫開始14日前まで
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ		収穫14日前まで				
	ハスモンヨトウ アブラムシ類 タマナギンウワバ	2回以内		2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)	3回以内	3回以内	
はくさい	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類		収穫14日前まで				3回以内
こまつな	アブラムシ類	1000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かぶ	アオムシ アブラムシ類			収穫7日前まで			
レタス	ヨトウムシ アブラムシ類	1000~2000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内 (植付時の土壌混和は1回以内)
	オオタバコガ ナメクジ類	1000倍					
サラダ菜	ヨトウムシ アブラムシ類 オオタバコガ	1000~2000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
カリフラワー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000倍					
ブロッコリー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000~2000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
ほうれんそう	ヨトウムシ ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類	1000倍					
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1000~2000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内
たまねぎ しょうが	ネギアザミウマ ハスモンヨトウ			収穫7日前まで			
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	1000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)
ばれいしょ	ジャガイモガ ナストビハムシ ニジュウヤホシテントウ アブラムシ類						
	かんしょ	ハスモンヨトウ ナカシロシタバ	1000~2000倍	収穫14日前まで	4回以内	4回以内	
だいず	ハスモンヨトウ シロイチモジマダラメイガ マメシンクイガ カメムシ類 ツメクサガ	1000~2000倍					100~300 ℓ / 10a
えだまめ	ヨトウムシ トビハムシ		1000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫30日前まで	1回	
てんさい	ヨトウムシ	2回以内 (は種前の土壌混和は1回以内)					5回以内
にんじん	ハスモンヨトウ アブラムシ類		1000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫前日まで	2回以内	
パセリ	アブラムシ類	1000倍					200~400 ℓ / 10a
茶	ハスモンヨトウ チャトゲコナガラミ コカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ミドリヒメヨコバイ		1000~1500倍	200~400 ℓ / 10a	摘採21日前まで	2回以内	
	チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカスミカメ	1000~2000倍					
	食用ゆり	クロバネキノコバエ類	500倍				—
セルリー	ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類	1000倍	100~300 ℓ / 10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
アスパラガス	ネギアザミウマ			収穫前日まで			
	にら	ナメクジ類	1~3 ℓ / m ²	収穫3日前まで	1回	灌注	2回以内 (散布は1回以内、 灌注は1回以内)
ネギアザミウマ		1 ℓ / m ²	収穫21日前まで				
らっきょう	ネダニ類			100~300 ℓ / 10a	収穫7日前まで	2回以内	散布
ごぼう	アブラムシ類	収穫14日前まで					
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000~2000倍	25~180 ℓ / 10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
たばこ	タバコガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ			収穫14日前まで			

正しい使用方法を守って 農薬は安全に使いましょ。

ランネット安全使用4つの基本

- ①施設(ハウス)内での散布は絶対にしない。
- ②性能の良い農薬用マスクを必ず着用。
- ③保管・管理を厳重に行う。
- ④適用以外の使用は絶対に行わない。

注意事項

●はくさいに使用する場合、定植後20日以内では葉害のおそれがあるので使用しない。●ジャガイモガに対しては潜葉幼虫を対象に使用する。●イチゴネグサレセンチュウの防除には、苗の移植活着後(育苗期)に7~10日間隔で2~3回ジョロ等で灌注する。●ミナミキイロアザミウマの防除に使用する場合、初発生時に直ちに、かけ残しのないよういねいに散布する。●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若齢幼虫期に散布する。(効果)●石灰硫黄合剤、ホルダー液などアルカリ性薬剤との混用はさける。●初めて使用する場合は、病害虫防除所等の関係機関の指導を受ける。●露地栽培のアスパラガスに対して散布と灌注を併用する場合、1週間以上間隔をあける。



安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物なので取り扱いには十分注意する。
- 散布液調製時及び使用の際は、防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
- 胸の高さ以下の作物に対して下に向けて散布する。作物が胸の高さを超える場合は絶対に散布しない。特にたばこでは、草丈が腰の高さの時に散布する。
- 施設内での灌注処理は、出入り口、天窗、側窓を開け、適宜、通気を確認して作業を行う。
- 灌注処理にはハス口状ノズルを使用し、ハス口状ノズルを腰より下にして地面に向けて灌注する。
- 被覆中の茶園や施設内など、噴霧のこもりやすい場所での散布は行わない。
- 高温多湿時の長時間作業および疲労時の使用はさける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の蚕葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、巣箱およびその周辺にかからないよう注意する。

グループ	1A	殺虫剤
------	----	-----

殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項: 薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロックローテーション、即ち、ランネット45DFまたは他のグループ1A殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。作付期間(播種から収穫まで)を通じて適応されるすべての「グループ1A使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
 (1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト
<http://www.irac-online.org>
 (2) デュポン株式会社ウェブサイト「デュポン 抵抗性」で検索

ご使用にあたっては製品ラベルをよく読み、適切にお使いください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- ※使用後の空容器、空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水は圃場等でタンクに入れてください。

ランネット普及会

クミアイ化学工業株式会社
 日本農薬株式会社
 北興化学工業株式会社
 丸和バイオケミカル株式会社
 三井化学アグロ株式会社
 五十音順
 事務局: デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社
 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1
<http://ag.dupont.jp>